

2021年度 授業改善アンケート第4Q/後期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
こころの科学	4 Q	吉澤 英里	アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。毎回、授業の最後にコメント・質問・要望を書いていただきましたが、それらを踏まえて授業を進めることが出来ました。その中で思うのは、「感じ方は人それぞれだ」ということです。例えば、板書時間一つとっても、「短い」とコメントする人と「長い」とコメントする人が同時にいます。授業前のルーティンも「適切」と感じる人と「不適切」と感じる人がいます。大教室である以上、完全な個別最適性の確約はできません。ご意見はご意見として承り、私が出れる範囲で改善をします。ありがとうございました。
数学入門（2年生）	4 Q	横山 哲也	板書、発声及び机間巡視の工夫した講義の実施
統計学入門（M-1年次）	4 Q	伊藤 裕康	毎回授業後にTeams上でふりかえりを記入してもらうとともに、授業内容への質問を書いてもらった。個人的にも回答したが、次回授業冒頭で履修者全員に質問内容に関して詳しく説明した。このやり方を今後も続けていきたいと思います。
統計学入門（SD-1年次）	4 Q	伊藤 裕康	毎回授業後にTeams上でふりかえりを記入してもらうとともに、授業内容への質問を書いてもらった。個人的にも回答したが、次回授業冒頭で履修者全員に質問内容に関して詳しく説明した。このやり方を今後も続けていきたいと思います。
統計学入門（A-1年次）	4 Q	伊藤 裕康	毎回授業後にTeams上でふりかえりを記入してもらうとともに、授業内容への質問を書いてもらった。個人的にも回答したが、次回授業冒頭で履修者全員に質問内容に関して詳しく説明した。このやり方を今後も続けていきたいと思います。
基礎英語Ⅱ（M-3）	4 Q	石田 咲子	習熟度別クラスだが、英語の理解度かなり差があり、英語に苦手意識がある学生には難しいと感じられたことがわかった。しかし、最終的に評価の高い学生が予想以上の人数だった。
英語入門Ⅱ（M）	4 Q	石田 咲子	オンラインでのアンケート依頼だったためか、回収率が低かった。前期に続いて後期のこの科目も履修者が多く、学生一人一人への対応に苦慮した面があった。成績に関しては、予想よりもはるかに悪く、保留者への対応が必要となった。
英語入門Ⅱ（S）	4 Q	横田 肇	理解度がまあまああったことはよいが、それ以外の項目があまりよくなかったのは残念。特に少しきつく言ったことに反発するコメントがあり、言い方や注意の仕方は難しいことを再認識した。また、男女で対応が違うとのコメントもあり、再考する必要がある。
健康科学（S）	4 Q	尾西 則昭	・評価ありがとうございます。改善するところかなりありましたのでしっかりと取り組んでいきます。また興味、関心を持っていただける様な工夫にも努めたいと思います。ありがとうございました。
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	4 Q	櫻井 美帆子	反応が良い学生が多く、授業が進めやすかったです。制度など複雑な部分があったかと思えます。疑問などがあれば気軽に質問にきて下さい。
建築構造力学Ⅱ	4 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。1、「プリントがTeamsにアップされていないものもある」との意見がありました。2、「授業の進行が遅くどんだん次に進んでいく」との意見がありましたが、シラバスの予定もあり、進行はやむを得ないです。基本的にみなさんは予習と復習をしっかりと90分以上する必要があります。理解不足等は復習をし、それでも不明点は研究室に来てほしいと思います。3、「テスト範囲以外も授業をしている」との意見がありましたが、テスト範囲はシラバスの一部分ということを理解してほしいと思います。以上のことを考慮して、授業に積極的に望んでほしいと思います。
ノンチャワークの理論と方法Ⅱ	4 Q	島山 明子	引き続き、受講者の皆さんの理解度・習熟度の高まる教材の活用を検討していきます。
民法（M）	4 Q	青山 浩之	民法は第4クォーター水曜日2講目と木曜日3講目の科目で、履修者47名、平均出席者36名（平均出席率77%）という状況で、回答者が40名と回答率85%であった。大雪で後半休講となり、遠隔授業を実施し試験は対面試験と難しい状況となった。授業スキルの評価は、「授業内容を理解できた」では好評価を受け、授業の全体印象に関する評価では、「全体満足」は好評価を受けました。「ポイントが強調されていてわかりやすかった」と評価を受けました。これからも興味や関心を持ってもらうように工夫していきたい。
子どもの理解と援助	4 Q	吉江 幸子	子どもの理解と援助を受講していただき有り難うございました。保育士養成課程の学生、資格は目指さないけれど科目に興味がある学生に履修していただきました。演習科目でしたがコロナ禍でもあり、グループワークではなくforms回答を使って皆さんの意見を公開するスタイルに変更しました。いろいろな意見があり他者の考えを知ることができたと感じています。
WEBデザインⅡ	4 Q	近澤 潤	本科目では、Webデザインの設計・デザイン・構築の一連のワークフローを体験することで、Webデザインへの理解を深めることが1つの目標であったが、学生のコメントから「楽しかった」などの主体的で前向きな姿勢が見られ、一定の効果を達成できたと考えている。しかしながら、ばらついた習熟度に対しての個別フォローについては、十分に対応できなかったため、よりICTを活用するなど今後の課題としたい。
アニメーションⅡ	4 Q	梅田 真紀	授業内容についてはシラバスに記載している通りですので、事前事後学習が欠かせません。作業量が多いという意見がありました。授業内容を簡易化することは簡単ですが、履修生の授業内容への興味関心や制作意欲を考えると、現状を維持したいと考えます。授業の工夫で負担は軽減に努めます。制作時間が短かった、という感想も多かったため、授業時間が増えれば余裕を持って制作に取り組むことができ、作品の完成度も上がると感じています。
キャラクターデザインⅡ	4 Q	三上 いずみ	この授業は授業回数に合わせて課題の制作段階を組み立てているので欠席するとその分時間配分がずれてしまふ。予習復習で補ってもらえれば無理な進行ではないのでできるだけ休まずに頑張ってもらいたいと思う。ただ、コロナ禍においては状況的に厳しい条件の学生も多かったように思うので課題のサイズの見直しを検討する。

保育の計画と評価	4 Q	吉江 幸子	保育の計画と評価を受講していただき、ありがとうございます。3年次の実習に向け、だんだんと根拠を求められる内容が増えてくる時期でもありました。PDCAサイクルの「P」の部分を理解できないと次につながりません、意味理解が不十分と感じる学生は、ぜひ復習を進めてください、研究室で個別学習も可能です。
施工管理技士演習Ⅰ	4 Q	小笠原 健	学生からの評価の通りで、引き続き、「施工管理技士演習Ⅱ」でも同様の講義を行い、受講者全員の国家資格「二級建築施工管理技士一次試験」の合格を目指したいと思っています。昨年度の合格率は、85.7%（全国合格率37.9%）でしたので、今年度も同レベルの合格率を確保したいと考えています。
くらしと景観	4 Q	伊藤 裕康	授業内で作品制作や写真を見て読み解く活動を行いました。本日は対面授業でグループ活動として行いたかった内容です。それでも個人の意見・感想を引き出すことができました。
財務会計論	4 Q	石山 玄幸	当講義は、決算書をしっかり読めるようになることを目的としており、経営学部を志望した学生は、ぜひ受講してもらいたい講義の1つである。学生の理解を最も大切にしながら進めており、今年度は、合格率高かった。学生からの評価からも、講師の意図が伝わっていると感じた。次年度からは、必修講義となるため、より多くの学生が理解できるよう努めたい。
北海道経済論	4 Q	石山 玄幸	例年同様、学生から高い評価を頂いたことに感謝する。当講義は、私が本学にて担当してから10年目であった。本学が所在する北海道の経済の歴史や今後について学生に考えてもらうことを第一に講義を進めている。当講義を受講した結果、北海道の潜在能力を感じてくれたら幸いである。
会社法	4 Q	青山 浩之	会社法は水曜日4講目と金曜日2講目の科目で、履修者91名、平均出席者87名（平均出席率74%）という状況で、回答者が57名と回答率65.5%であった。対面授業と遠隔授業（未入国留学生）の併用で実施した。大雪で後半2回休講となり、遠隔授業を実施し試験は対面試験と難しい状況となった。しかし、授業の全体印象に関する評価では、「全体満足」は好評を得た。「配布されたプリントも見やすく勉強しやすかった」と評価を受けました。これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。
スポーツ医学	4 Q	黒川 泰任	わたしちヒトは生き物の一種で、動物の一種です。すなわち生命活動を維持しながら「動く」ことができます。体を構成する「構造」でありながら、それを動かすことができる能力を手にしたことは偉大な変化でしょう。すなわち、自分の意志で自分の身体を動かすことができれば、それだけで意義のあることなのか、それを考えて追求することがスポーツの生理学、すなわち「スポーツ医学」です。どんな仕事、どんな立場に置かれても身体を動かすこと、すなわちスポーツや運動から逃れることはできません。むしろ、皆さんはそれらに積極的に関与していかなければなりません。この講義を機会として、「スポーツ、運動にはどんな意義があるのか？」を自分の中に作り上げるきっかけとしてください。
スポーツと栄養	4 Q	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂きましたが、中には授業の方法について一部具体的な意見も頂いたのでその点も含め今後は一層考慮を加えた内容にしていく所存です。
eビジネス論	4 Q	阿部 裕樹	Teamsで授業で使用した教材をアップすることで授業の復習が可能環境が整いました。今後は、学生が事前に学習を進めるための教材の作成を検討したいと思います。
コミュニティ心理学 (M)	4 Q	吉澤 英里	コミュニティ心理学は社会福祉学科と経営学科がありますので、両方に共通してお返事をします。アンケートの回答をいただき、ありがとうございます。COVID-19による大学の危機管理ステージ変更に伴い、当初予定していたグループワークができませんでした。その点について、お詫びします。また、オンライン授業においても、通信機器等の不調により、ご不便をおかけしました。毎回、最後に書いていただいたコメント、質問、要望にお応えする形で改善をしてきました。本アンケートでも、時間配分や理解度について、数名の方から厳しい評価をいただきました。ご意見を踏まえて、次年度の授業改善をします。
コミュニティ心理学 (S)	4 Q	吉澤 英里	コミュニティ心理学は社会福祉学科と経営学科がありますので、両方に共通してお返事をします。アンケートの回答をいただき、ありがとうございます。COVID-19による大学の危機管理ステージ変更に伴い、当初予定していたグループワークができませんでした。その点について、お詫びします。また、オンライン授業においても、通信機器等の不調により、ご不便をおかけしました。毎回、最後に書いていただいたコメント、質問、要望にお応えする形で改善をしてきました。本アンケートでも、時間配分や理解度について、数名の方から厳しい評価をいただきました。ご意見を踏まえて、次年度の授業改善をします。
倫理学概論 (S)	4 Q	遠藤 均	WEBと対面が交錯し、やり方を試行錯誤する日々が続きましたが、このような状況下でよく頑張ってくれたと感謝しています。
教育心理学 (M・D・A)	4 Q	吉澤 英里	教育心理学は社会福祉学部と経営学部・美術学部がありますので、両方に共通してお返事をします。アンケートの回答をいただき、ありがとうございます。この授業は教職課程に置かれています。第1回のオリエンテーションでもお伝えした通り、難易度はかなり高めです。その点について、今後も妥協する予定はありません。3年後に役に立つ内容を目指して作っています。ぜひ、自学自習に励んでください。COVID-19による大学の危機管理ステージ変更に伴い、オンライン授業の通信機器等の不調により、ご不便をおかけしました。毎回、最後に書いていただいたコメント、質問、要望にお応えする形で改善をしてきました。本アンケートでも、内容や理解度について、数名の方から厳しい評価をいただきました。ご意見を踏まえて、次年度の授業改善をします。
教育心理学 (S)	4 Q	吉澤 英里	教育心理学は社会福祉学部と経営学部・美術学部がありますので、両方に共通してお返事をします。アンケートの回答をいただき、ありがとうございます。この授業は教職課程に置かれています。第1回のオリエンテーションでもお伝えした通り、難易度はかなり高めです。その点について、今後も妥協する予定はありません。3年後に役に立つ内容を目指して作っています。ぜひ、自学自習に励んでください。COVID-19による大学の危機管理ステージ変更に伴い、オンライン授業の通信機器等の不調により、ご不便をおかけしました。毎回、最後に書いていただいたコメント、質問、要望にお応えする形で改善をしてきました。本アンケートでも、内容や理解度について、数名の方から厳しい評価をいただきました。ご意見を踏まえて、次年度の授業改善をします。

道徳教育の指導法	4 Q	遠藤 均	WEBと対面が交錯し、やり方を試行錯誤する日々が続きましたが、このような状況下でよく頑張ってくれたと感謝しています。
総合的な学習の時間の指導法	4 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足できた」以上が90%、「熟意」は、「そう思う」以上が90%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が90%でした。「シラバスの説明が1番丁寧にされていたし、アクティブラーニングの幅の広さや自主学習の取り組みを多めに取り組むことで学習活動の習慣化をすることができた。教員になる上での資質を最も得ることができた授業だと思った。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
情報基礎演習Ⅱ (M-1)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分散を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (M-2)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分散を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (M-3)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分散を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (S-1)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分散を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (D-1)	後期	近澤 潤	本科目では、習熟度のバラつきをフォローするため、グループウェア (Teams) を積極的に活用した個別フィードバックやチャットによる質問の受付、試験対策としての補講・特講を実施した。コメントからも学習モチベーションの向上を図ることができたと考え、今後もより多くの学生に対して実施できるよう、引き続き改善を行う。シラバスの説明については、第1回授業で間違いなく実施しているため、欠席者に対する説明方法を今後講じたい。
情報基礎演習Ⅱ (A-1)	後期	由水・近澤・向井	本科目では、ばらついた習熟度に対応するため、グループウェア (Teams) を活用した個別フィードバック、チャットによる質問の受け付け、試験対策としての補講・特講を実施した。コメントから、これらの取り組みにより学生のモチベーションを高く維持できたと考え、説明に時間がかかることもあり、授業終了時刻を1-2分超過する場面もあったため、次年度は、時間配分意識の向上及び補足するための教材作成・配布などを図りたい。
平面構成Ⅱ (A)	後期	中島 義博	ご回答ありがとうございます。学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
デザインⅡ (A)	後期	西田 陽二	昨年の授業内容より格段に良くなっている。学生の技術の上達も顕著なものがある。基礎を習得するには十分な時間とは言えないが私語を慎み集中することで上達する学生が増えてきている。
デザインⅣ (A)	後期	西田 陽二	前半の遠隔授業が考える時間となった。学生の技術の上達も顕著なものがある。基礎を習得するには十分な時間とは言えないが私語を慎み集中することで上達する学生が増えてきている。
デザインⅣ (B)	後期	西田 陽二	前半の遠隔授業が考える時間となった。学生の技術の上達も顕著なものがある。基礎を習得するには十分な時間とは言えないが私語を慎み集中することで上達する学生が増えてきている。
キャリア支援演習Ⅱ (M)	後期	石山 玄幸	当講義は1年生の後期に実施している。大学生になってわずか半年という時期であるが、将来に向けて重要な講義である。概ね、受講生の評価は満足しているとのことであった。担当者の一人として、次年度も、学生目線の講義を企画・提案していく所存。
キャリア支援演習Ⅱ (S)	後期	尾西 則昭	評価ありがとうございます。かなり音声トラブルが多くて、大講義室及び大講堂では、平等さにかなり欠けていたようですので今後改善していきます。評価ありがとうございます。
キャリア支援演習Ⅱ (A)	後期	長森 正	アンケートのご協力ありがとうございます。全般的に授業内容には満足しているような結果でしたが、一部意見に以下のような記述がありました。1.「関係ない分野の話ばかりで無駄でした」「意味がない」このようなことは決してありません。関係のない分野などは無く、1年次での学外講師の方の講演はとても参考になると思います。次年度以降も厳正な講師の方の人選を検討していこうと考えています。
立体構成Ⅱ	後期	梅田 力	様々な素材に触れられる事が楽しかったとのコメントを頂いた。学生のコースを鑑み、そうした機会をより多く創出できるように授業を改善していきたい。
デザインⅡ (A)	後期	上坂 恒章	殆どの項目で「適切である」以上の回答であった。受講学生のPC基礎スキルの幅が広いために、一斉に進めるのが難しい部分があるので、配布しているプリント等を改善し次年度は進めたい。
イラストレーション基礎Ⅱ	後期	佐藤 正人	初めてイラストレーションを学ぶ生徒も多く、その中で概ね生徒達が満足いく授業と感じてもらえたのは良かったと思う。授業の中でも集中して制作している姿も多く見られたので生徒一人一人のスキルアップに繋がってもらえれば嬉しいと思います。最後の後半リモート授業で終わってしまったのは残念だが、新年度からも生徒達の満足いく授業に取り組んでいきたいものです。
デジタル表現基礎	後期	木下 泰男	特に、インテリアパース演習作図では、時間配分への対応に配慮し、より分かりやすく内容を改善し、説明していくよう努めて参りたいと思います。オプティック図法は概ね表現できていた。
絵画Ⅱ	後期	西田 陽二	短い期間の実技時間ではかなりの上達ぶりと感じている。
漫画Ⅱ	後期	三上 いずみ	ストーリー漫画の課題においてページ数は自由にしているが、学生の制作速度に適合していない場合がよくあり、作品の質が良くても未完に終わることが多い。指導者として学生の制作速度を見極めることが難しく、今後の課題である。来年度は課題の内容と方法を改善したい。

イノベーションⅣ	後期	佐藤 正人	様々な事を学んで来た3年生の授業という事でより実践・応用的な事学ぶ機会として授業の組み立ても考えて実施してましたが、多くの学生が満足いくと感じてもらえた事は良かったと思います。課題に合わせてアナログ+デジタル対応にした事も良かったでしょう。更なるスキルアップを目指すよう授業内容も更に良いものにして行きたいと思います。
デジタルデザインⅡ	後期	三上 いずみ	コロナ禍での対応となり、課題サイズの縮小と人数を制限する対応になったが、学生は課題の意図をしっかりと理解し、また、楽しんで制作にあたってくれた。最後の発表も遠隔となってしまったが、学内図書館の展示スペースで展示したことで、達成感を感じてくれたように思う。作業を少人数で進めざるを得なかったため、作業終了後の学生の対応が不十分なところがあったので改善したい。
日本画Ⅱ	後期	岡 恵子	コロナや履修生の動向によりシラバスの見直しの時期と考えられる。特に屋外写生については気温や天候、履修生の興味に影響され、全員での実施は困難になっている。履修生の興味関心を優先した画題選びを再考したい。
コナテックデザインⅡ	後期	上坂 恒章	殆どの項目で「適切である」以上の回答であった。3年生であるので積極的に事前学習、事後学習を進めるためにも教科書を指定しているが、なかなか進んでいない状況であった。次年度にむけて、主体的学びの手法を進めるようにしたい。
彫刻Ⅱ	後期	梅田 力	刃物を使うため、毎回講義前後に行っていた安全面でのアナウンスが好評であった。安全面での指導は大切なので、継続していきたい。課題については昨年度から変更したもの(2課題から1課題へ変更)がより良い反応であった。来年もこのペースを基本として、少し早く終わる学生に対しては、さらに学びを深める小課題を準備する。
工芸実習Ⅳ(梅田)	後期	梅田 力	比較的良好な評価をいただいたが、時間配分の点で再考が必要と感じた。来年度は、学生の作りたいものやアイデアの希望を聞きながら、事前にかかりそうな作業時間を伝え、しっかりと時間配分を行いながら、じっくりと作品制作を出来るようにアドバイスをしたい。
工芸実習Ⅳ(中島)	後期	中島 義博	ご回答ありがとうございます。学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
彫刻Ⅳ	後期	国松 明日香	一時的に落ち着きを見せていたコロナ感染症が、後期になって感染者数の増加を見せ始め、学生たちも大きな不安を抱きながらの受講となった。受講生の全員が対面授業を希望したため感染対策を万全にし、窓を開けて換気しながらの授業形態となった。受講生が5名だったことから、1教室でも密にならずに間隔を開けて授業を行うことができ、昨年度と比較して授業はやりやすかった。受講学生のアンケート結果を見ても概ね満足していたように感じる。受講態度も良好で、制作に集中していた。そのお陰で授業も予定していたシラバス通りには進めることができた。
建築史	後期	木下 泰男	テキストを事前に目を通し授業に臨んで、プリント中心に筆記(板書)を極力少なく説明に集中してもらえよう工夫し、明瞭な声でゆっくりと説明に配慮していきます。急速のネット授業では、不慣れもあり、改善に努めて参ります。
建築設計演習Ⅱ	後期	日野 桂子	授業は完成品の精度の差がやる気や、かける時間によって差が出る授業になります。手描き、CAD(ソフトこだわらず)どちらでも学生が得意な作業での提出を選んでもらっています。しかし、ArchiCADのソフトを使ったことないけどやってみようという生徒が1/3くらいいました。簡単な入力だけの作業で出来た図面を提出した生徒が多かったです。その中でもArchiCADを駆使して素晴らしいプレゼンを作った学生もいます。来年度は建築設計演習Ⅱの授業の前にArchiCADの授業も増えるようなので、良い作品が数多く出てくると予想しています。1つだけの課題より2つの建物というのはカリキュラムの中で丁度良い物数だと思います。じっくりやりたければ、授業以外の時間での予習復習でエスキス、スケッチ、スタディを繰り返して自分の納得いく図面を作ると良いです。建築の大学生は設計製図をある程度描けないと図面も読めないで設計演習の授業は不可欠です。
保健体育科教育法Ⅲ	後期	高井 雅一	体育授業を領域ごとにどのように進めていくか、グループで相談し合う機会を設定して、その領域にあった指導技術・内容を思考し、指導案づくりをしていきたい
保健体育科教育法Ⅳ	後期	高井 雅一	高い評価をいただきました。この講座は、体育実技の模擬授業が中心で行っています。学生が主体的に、そして模擬授業中に問題点や質問があれば、時間を止めて学生同士が気軽に討議する場にしていきたい。結果、次時の授業内容の充実につなげていきたい。
スポーツ行政学	第4Q	三嶋 康嗣	パワーポイントによる授業用教材を学生がより見やすく復習しやすいものに刷新したい。
造形表現Ⅰ	第4Q	松岡龍介	この科目は、将来、保育士として日常で必要となる造形表現(図画工作)の基本を学ぶ科目である。シラバスは、かなりスマートにまとまっているので、学生の真摯に学ぼうとする姿勢が問われる科目である。また、専門家としての保育士となる以前の社会人としての保育士となるために学生時代から、人と人の常識的な接し方や、対応する相手に対しての関係を学ぶ授業でもある。そして、人としての最低限の社会性を身につけてもらいたい。
基礎デザインⅡ	後期	林 春生	デザインの何たるか認識させる為とオリジナルのデザインが表現出来るように授業を組み立てた。品評はチャットで個々に行ったが、全員の認識となるように改善する。
プロダクトデザインⅡ	後期	林 春生	自力で商品提案が出来るように計画したが、アイデア展開の場面で、拡がりに個々の差が見られた。改善が必要と考えます。
知的障害教育Ⅱ	第4Q	藤根 収	比較的良好な評価をいただきました。少人数の授業ですので、一人一人の学びの状況に合わせて、今後も理解度を把握しながら、授業改善に努めてまいります。
社会調査の基礎	第4Q	杉本 大輔	学生の十分な理解に至らなかった。反省する。
英語入門Ⅱ	第4Q	宮嶋	本来の語学教育で少人数での授業展開ができたので学生たちは満足いく結果であったようで会話中心の実践英語を継続していきたい。
外国語コミュニケーション	第4Q	宮嶋	本来の語学教育で少人数での授業ができ、継続して会話中心でわかりやすい実践英語の授業展開をしていきたい。
管理会計論	第4Q	鈴木重政	受講生の理解が深まり何よりです。
簿記論	後期	鈴木重政	大部分の学生が理解を深めることができ幸いです。広い教室でスライドを用いて授業を行ったため、後方の学生は不便だったかもしれませんが、前方の座席に移るよう提案しても従わず、不満を述べられても困ります。オリエンテーションで何度も説明したことを理解せず、不満を述べる学生も同様です。

子育て支援	第4Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。好評だった子育て相談（対面・電話）のロールプレイや事例を用いた意見共有等を今後も取り入れていきたいと思っています。
児童・家庭福祉	第4Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。好評だった近所トーク（学生同士の課題に対するディスカッション）や質問への回答を中心とした前回授業の振り返りは、今後も続けていきたいと思っています。
教育行政学	第4Q	荒木広式	毎授業時に課題を設定し、構想（グループ協議）⇒情報収集（講義）⇒思考⇒表現（レポート執筆）の過程を通して、課題に主体的に取り組む姿勢と表現力の醸成を目指しました。一定の成果が得られたと思います。今後とも、教育行政に係る最新情報や教育現場のエピソードを紹介するなど、さらに興味のある授業づくりに努めます。
生活支援システム	第4Q	大島康雄	社会福祉の対象は、生活になります。それを支えるシステムを理解してもらうように事例を中心にお伝えしたつもりです。
精神保健福祉相談援助の基盤(再)	第4Q	西野 克俊	アンケートの回答ありがとうございます。 船体的には適切であった以上の回答をいただき、ネガティブな要素はないものの、十分に満足できているとは言えない部分もありますので、授業の進め方や時間配分などを含め、今後改良を加えていきたいと思っています。
日本語IV	第4Q	佐藤恵利	シラバスの説明があまり適切でなかったというご意見を頂きましたので、今後は授業内容を分かりやすく提示したいと思います。授業内容については否定的なご意見はありませんでしたが、今後も日本語IVを履修する学生の日本語能力が向上するよう、工夫をしながら授業をしていきたいです。
経済学入門	第4Q	小林大州介	ネットトラブルが多発し、大変失礼いたしました。 みなさんが快適に通講講義を受けられるよう、いろいろ工夫したいと思います。
地域福祉の理論と方法II	第4Q	上原正希	Iでは主に概念的なことを中心に授業を展開し、IIでは事例をもとに、Iで学んだ概論がどのように活用されているかを授業で展開した。 概ね理解しているようであるが、より具体的に理解しやすいような映像を交えた授業を実施していきたい。
スクールソーシャルワーク演習	第4Q	上原正希	演習の授業前にスクールソーシャルワーク論で概ね、児童や家族、教員や学校が置かれている現状について学び、その後事例に対し、どのような支援を展開すべきかを各学生で議論・発表してもらった。 概ね理解している感じであるが、今後、実際に現場でイメージができるかが問題であり、少しでも学びがその手助けになればと思う。
スポーツ社会学	第4Q	戸佐 晃一	学生の理解度及び満足度を上げるために、授業内容の工夫及びICTを活用することで飽きることのない身近なテーマを題材として、今後授業を検討したいと思います。
球技III（バドミントン）	後期	戸佐 晃一	フォームやフォーメーションの確認にスマートフォン・タブレットなどのICTを活用することで、より理解度を高めて行きたいと思う。
自然と環境	第4Q	井坂 肇	アンケート結果を見ると全体的な満足度は高く、授業のペース配分や難易度も学生にとって適切なものだったと判断できる。学生の評価コメントに受け答えが丁寧で好感があったと書いており、誰であろうと礼儀をもって接することの大切さを改めて感じました。オンライン授業にでの出席方法については評価コメントでもあった通り授業に関する質問を投げかけるなどして学生が授業に参加できているかのチェックが必要だと思いましたので、次年度の改善事項とします。
基礎英語II（M-4）	第4Q	井坂 肇	アンケート結果から授業全体の満足度は高く、また授業全体の構成に関しても大きな問題点は見られていなかった。一方、学生の中には理解不十分で授業が進んでしまいついていけない学生がいたことも感じ取れる。次年度の改善点としては、小テストを頻繁に実施しながら学生の理解度を確認し、無理に難しい内容に取り組むよりも理解でき範囲の事項を徹底的に定着させ学力の向上を図るという方針で行いたいと思う。
ビジネスコミュニケーション演習	後期	本間 智子	社会に出る際に役立つマナーやコミュニケーション力を身に付ける授業が中心となるため、殆どの学生が社会的マナー等を全くわからない状況でしたので授業内容は学生にとって非常に役立つ履修だと思いました。だからこそ経営学部だけに留まらず、他学部の学生が受講することも検討しても良いかと感じました。経営学部はスポーツ系学生が多いため一般学生が消極的になりがちでしたので、一般学生にも履修してもらうとバランスが取れた授業雰囲気を作れると思います。又、就活等に役立つ内容が多い為、2年生だといまいちピンと来ない・関心が薄れる印象を受け、3年生のほうが集中して受講するのではないかと感じました。
キャリア支援演習II	後期	三上いずみ	学科によって評価基準が異なることに関しての指摘があり、来年度からは統一する方向で進めています。内容に関しては概ね満足してくれたようですが、企画内容や受講のタイミングを含めてさらに改善していきたいと考えています。
洋画II、技法・材料研究II	後期	安田祐造	高い評価をいただきありがとうございます。しかし、私としてはまだまだ至らない点が多くあるものと考えておりまして、来年度には、それを少しでも改善させられるように心がける所存です。(洋画II、技法・材料研究IIに対しての共通のご回答です。)
応用数学	第4Q	横山哲也	話し方の工夫及び講義進行の検討を行う。
サードセクター論	第4Q	山本一彦	「解」を出せないテーマを多く含む科目でもあるので、受講者が現実の問題をより良く考察できるよう、実際の事例などの適切な提示を工夫していきたい。
肢体不自由教育II	第4Q	坂上俊樹	8つの設問で、満足したという回答をいただきはっとしています。一方「話し方」「授業の満足度」の2項目に8%の不適切・あまり満足できなかったとの指摘をいただきました。話すときの言葉の選択や明瞭度等に工夫をしていきたい。また、授業を進めながら学生の質問や意見を十分に聞く時間を設けていきたいと思っています。
社会・地理歴史科教育法II	後期	渡部 斎	これからも、講義内容を充実していきたいと思っています。